

「MSW業務のデータ活用を考える」

日時 2018年12月1日(土) 14:00～17:00 (受付 13:30～)

場所 仙台市立病院 3階 第2会議室

仙台市太白区あすと長町1-1-1

※お車でのご来場はご遠慮ください。公共の交通機関をご利用ください。

参加費 ①会員・学生：無料 ②非会員：3,000円

退院支援加算の数だけがMSW業務の実績ではありません。保健・医療・福祉の専門家である私達が何の根拠をもって組織におけるMSWの有用性を示すかが重要です。

ソーシャルワークの基本である自己実現や自己決定といった目に見えにくい部分も含めて、いかにして我々の業務を「見える化」していくべきか、今回は、実践者としての視点だけでなく経営者としての視点も含めた多角的視点でMSW業務のデータ活用について皆さんと共に考える機会とします。

プログラム

座長：中川 美幸（早良病院 医療ソーシャルワーカー・

日本医療ソーシャルワーク学会 理事・福岡県医療ソーシャルワーカー協会 副会長）

14:00～15:00 提言①：データ管理の意義と方法～業務の『見える化』を考える～

畠山 稔（仙台市立病院 医療ソーシャルワーカー・

宮城県医療ソーシャルワーカー協会 会長）

15:05～15:35 提言②：病院経営の立場から～MSWに求めるデータとは～

折原 重光（姉川病院 事務部長・

長崎県医療ソーシャルワーカー協会 会長）

15:45～16:30 グループワーク

16:30～17:00 質疑応答・総括

お問い合わせ：総合南東北病院 医療ソーシャルワーカー 菊地 知憲

TEL:0223-23-3151 (代表) FAX:0223-23-5665 (相談室直通)